

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

AA 研共同利用・共同研究課題「東南アジア大陸部地域語彙の類型論的研究」

2021 年度第 3 回研究会（通算第 8 回目）報告書

日時：2022 年 3 月 13 日（日）13:30-17:00

場所：オンライン

使用言語：日本語

主催：基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

13:30-15:00 澤田英夫（AA 研所員）

「ロンウォー語の語彙について」

15:10-16:40 春日淳（神田外語大学）

「ベトナム語の語彙」

16:40-17:00 全員

全体討論

研究会の報告の要旨は以下の通りである。

澤田英夫（AA 研所員）

「ロンウォー語の語彙について」

本課題の第 1 回研究会で提示されたトピックである細分化語彙（「借りる」、「洗う」、「運ぶ」、「来る・行く」、有生性による語彙の使い分け、調理語彙）、体系的語彙（親族語彙、色彩語彙）、イディオム（サイコ・コロケーション）について、ロンウォー語の事例を示した。

注目すべき点は以下の通り。

- 1) 「借りる」については、同一物の返却を含意する $\eta'oL-$ と、等価物の返却を含意する $tʃitH-$ が区別される。
- 2) 発話場所に向かう移動（「来る」）、そうでない移動（「行く」）のいずれについても、a. 着点 [-HOME（移動者の定位置でない）] かつ [-HIGHER（起点より低い）] かつ [-DISTANT（心理的に隔たる）] の場合に用いられる形式（liH「来る」/jeL「行く」）と、b. それ以外の場合に用いられる形式（loF「来る H」/loH「行く H」）が区別される。
- 3) 同一の民族文化集団に属する民族の話すジンポー語と、個々の親族語彙形式はおおむね異なるものの、親族体系の枠組は共通である。
- 4) 基本的色彩語彙は、phjuF-「白」/noʔF-「黒」/neF-「赤」/ɲukF-「緑-青」の 4 つで、色彩語彙のうちこれらだけが動詞として用いられる。

5)サイコ・コロケーションに用いられる名詞要素としては、固有語の n'akH(lamL)「心臓、心、気持ち」とジンポー語由来（倉部慶太氏のご教示による）の mjitF「心、気持ち、感情」がよく見られる。ただし、単独で心理状態を表す動詞に余剰的に n'akH(lamL)や mjitF が付く場合がある。ジンポー語のサイコ・コロケーションに多く現れる「肝」を持つ例としては、saŋL ɲajF-「肝+小さい>偽善的である」ぐらいしか見当たらなかった。

春日淳（神田外語大学）

「ベトナム語の語彙」

ベトナム語はオーストロアジア語族（モン・クメール語族）、ヴィエット語派（ベト・ムオン語派）に属する言語である。本発表では、ベトナム語の類型的特徴と統語法について簡単に触れ、その語彙について、（１）動詞類、（２）名詞類について報告を行い、個別の現象として動詞類の中の（３）*ăn* + V、動詞と名詞の結びつきとしての（４）*psycho-collocation* の例を取り上げ、最後に（５）翻訳借用についても若干触れた。（１）については、その動作の種類と統語的特徴から「切断」「洗浄」「摂食」「発話」「知覚」「授受」「存在・所有／不在」「残存、不足」「発生、消失」「保持・運搬」「移動」「色彩」に分けて報告した。このうち、「知覚」を表す動詞の１つ *thấy*「見える」（不随意動詞）は他の動詞と *V* + *thấy* のように複合するとき（*V* は「見る」「見守る」「嗅ぐ」などを表す随意動詞）、知覚の不随意的な結果（「見える」「匂いがする」など）を示すこと、また、「存在・所有／不在」「残存、不足」を表す動詞は *VN*（*N* は存在するもの、所有されるもの、不在のもの、残存するもの、不足しているもの）という語順をとり、「発生、消失」の動詞の多くは *NV* とともに *VN* の語順もとる（*N* は発生、消失するもの）ことに言及した。（２）については、「親族」「ライフステージ」「時間」「類別詞」「植物」を表す名詞類について報告した。（３）では、「食べる」を表す動詞 *ăn* が他の動詞と *ăn* + *V*（*V* は「話す」「着る」「盗む」などの動詞）の形で複合するとき、*ăn* の「食べる」という意味は希薄化し、全体として後続の *V* に関わる動作の様態がハイライトされた意味となることに言及した。

（発表要旨は発表者による）